



バイパス整備が待たれる県道横芝下総線(上町)

計画の中でも将来的には台地も含めた総合的な公園化を図るとしているので、当面は坂田池公園やスポーツ広場の整備に力を注いでいくが、将来的には総合的な整備を考慮していきたい。

大総新道延伸の進捗状況

問 道路網の整備はこれからのまちづくりには欠かせない重要施策である。①大総新道の延伸計画についての進捗よく状況は②県道横芝山武線改良の状況は

答 ①平成7年度に東金有料道路2期工事が遠山(桜前)地先まで延伸され完成するので、

町でもこれらに対応できる道路整備ということ、第2次基本計画の中で大総新道(坂田池際)から国道126号まで、さらに国道126号から栗山地先までをそれぞれ県道バイパスとして位置付け、県に強く要請している。県では昭和63年度から交通量調査などを実施しており、昨年度は

予備設計を行い改良計画案が策定された。今年度は、国道交差やJRの高架などの影響調査を行う予定。また、並行して関係者への事業説明を行い、関係者の了解が得られれば測量や、詳細設計に入ると思われる。②県道横芝山武線につ

職員の研修状況

いては、寺方地先から大総農協までは完了している。さらに、中台の角田地先までは平成3年度から用地取得を進め今年度も引き続き用地の取得を行う。また、可能なところは並行して工事を行い、平成8年度完成予定である。

問 複雑、多様化している業務や、大きなプロジェクトを遂行するうえで、職員に各種の研修が必要と思うがどのようか考えるか。また、職員の研修への派遣状況について伺いたい。

答 当然のことながら大切なことと考えている。今年度は派遣研修に加えて、住民サービスのより一層の向上を図るため、幹部職員研修や接遇研修など内部的な研修も行う。派遣状況は、自治専門校などへ計画的に行っており、昨年度は課長研修などへ43名、今年度は33名を予定している。

9月6日は防災訓練

“いざ”というときに備え参加しましょう。

町防災訓練が9月6日(日)に全地域を対象に行われます。今回の訓練は、「大地震により災害が発生」という想定で、自主防災会や消防団が中心となり、地域のみなさんによる安全に、また、敏速に避難させる訓練がメインとなります。幸い横芝町は、昭和62年の千葉県東方沖地震以後は、大きな災害は起きてはいませんが、「災害は忘れたころにやってくる」と、言われています。



昨年行われた初期消火の訓練(南川岸地区)

いざというときに適切な行動がとれるよう訓練にはぜひ参加してください。